

THE BOY WHO HARNESSSED THE WIND

風をつかまえた少年

字幕スーパー

日時 8月19日(木)

14:00~(開場13:30)
上映時間113分

会場 山口県立図書館
レクチャールーム

定員 先着80名(感染対策人数制限)

料金 無料

申込み ①電話 083-902-2266

②FAX 083-928-5416

※電話での受付時間は平日の
午前10時~16時です



僕がどうやって
風力発電で
未来を
手に入れたのか。



主催 山口県ユニセフ協会

山口市後河原210番地

後援 山口県教育委員会

unicef 

for every child

アカデミー賞受賞『それでも夜は明ける』キウテル・イジョフォー初監督作品
23カ国で翻訳され世界を感動で包んだベストセラーの映画化
“電気を起こす風車”で村を救った14歳の少年の奇跡の実話
ひたむきな姿が学ぶことの大切さを伝えてくれる



2010年に日本でも出版された1冊のノンフィクションが、世界を驚かせ、興奮させた。中等学校を退学になった14歳の少年が、当時人口のわずか2%しか電気を使うことが出来ない、世界で最も貧しい国のひとつアフリカのマラウイで、自分の頭脳と手だけを頼りに発電することに成功したのだ。彼は家族と村の人々を救うだけでなく、大学へ進学し、2013年にタイム誌の「世界を変える30人」に選ばれるという素晴らしい人生も手に入れた。

この現代の奇跡に感銘を受けた、『それでも夜は明ける』の名優キウテル・イジョフォーが、10年の歳月をかけて初監督作品として映画化を実現。2019年、サンダンス映画祭、ベルリン国際映画祭と立て続けに公式上映され熱い喝采を浴び、NYのプレミア試写会では、国連難民高等弁務官事務所特使も務める、名女優アンジェリーナ・ジョリーからも絶賛された。

学ぶことが、未来を切り開き、人生を豊かにしてくれる。それは子どもたちだけではなく、私たちすべての人々が生涯を通し忘れてはならないことなのだ。少年が教えてくれる、奇跡の実話。

STORY 2001年、アフリカの最貧国のひとつマラウイで大干ばつが襲う。14歳のウィリアムは飢饉による貧困で学費を払えず通学を断念するが、図書館で一冊の本と出会い、独学で風力発電のできる風車をつくり、乾いた畑に水を引くことを思いつく。いまだに祈りで雨を降らせようとする村で、最愛の父でさえウィリアムの言葉に耳を貸さない。それでも家族を助けたいという彼のまっすぐな想いが、徐々に周りを動かし始める――。

とても重いテーマにもかかわらず物語に引き込まれ、ウィリアム役の少年がとても愛おしくなりました。一つ一つのシーンから音楽まで、雄大で美しく非の打ち所のない作品です。

アンジェリーナ・ジョリー 女優/UNHCR特使
 監督(右)と原作者と共に
©Monica Schipper, Getty Images for Netflix ©2019/2/25 NYプレミア試写会にて



少年は荒れ果てた
 土地の真ん中で、
 いかにして未来を
 手に入れたのか？

『風をつかまえた少年』上映会 **参加申し込み** FAX083-928-5416
 TEL083-902-2266

お名前 _____

ご住所 _____

電話 _____

参加合計人数 _____ **名**

- ①切り離さずそのままFAX送信するか電話でお伝えください。
- ②定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- ③ご記入の個人情報はこの映画上映にのみ使用します。